

やひこ 散歩ノート

泉流 こしのはくせつ 弥彦酒造株式会社



▲國酒 伊彌彦の攪拌作業

専務の大井源一郎さんにお話を伺いました。弥彦愛に溢れており、酒づくりで必要となる水は、越後一宮・彌彦神社の御神体である弥彦山の伏流水を使い、米は弥彦村産のものを使うという強いこだわりを持って酒づくりを行っています。

2 00年近い歴史を持つ**弥彦酒造株式会社**（上泉）。

創業：1838年（天保9年）
本社所在地：弥彦村大字上泉 1830-1
電話：0256-94-3100
主な業務内容：日本酒醸造
HP：http://www.yahiko-shuzo.jp/



▼お話を伺った大井源一郎さん



げられるほど、今、大注目のお酒です。

純米吟醸「**彌彦愛國**」は弥彦産の酒米「愛國」と、東京農大にて弥彦桜の酵母を培養して使用しています。またラベルは、やひこの里利用者に和紙を漉いてもらい、弥彦在住の田中藍堂先生が一枚ずつ心を込めて手書きをしています。

日本酒だけでなくデザートもありです。それが「**やひこじゅえらーと**」です。いくつもの味がありますが、例えば、いちご味ならサンファーム大戸さんから、巨峰味なら石川ぶどう園さんから、弥彦村産の野菜や果実を仕入れています。

「食事の主役は、あくまで料理。どんな料理でも、それを引き立てる日本酒を作りたい」と語る大井さん。近年、世界各国で日本酒の注目度が高まっています。弥彦愛と弥彦の素晴らしさが詰まる一品を皆さんもぜひ感じてみてはいかがでしょうか。



◀彌彦愛國

村の文化として、次世代にも引き継いでいきましょう！

やひこじゅえらーと▶

ノンアルコール・卵不使用のため、お子様もお召し上がりいただけます。ふるさと納税の返礼品の1つです。



村長席から



昨年末のこの欄で我が家のカマキリの巣が地上三メートル近くの軒下にあり、大豪雪が心配と書きました。現実には、記録的な暖冬で村の除雪車出勤ゼロとなりました。カマキリの本能が狂うほどの異常事態が起きていると感じました。同時に、今年は何が起きてもおかしくない年になりそうだと、正月自分に言い聞かせました。

それにしても、年明け早々から新型コロナウイルス、新型肺炎が日本は勿論、世界各国にこれだけの猛威を振るうとは……。私たちは国の指導、要請に基づいて感染しないよう各人が努力をするほか自分を守る術がありません。

人込みに出かけることは極力避ける。外出からの帰宅時には手洗い、うがいをしっかりと励行する。役場も不要不急の県外出張は禁止するなど出来る限りの対策を立てています。しかし、終息が長引けば、観光地を抱える弥彦村は大きな打撃を受けるのを避けられません。今から最悪の場合を想定した対策を立てなければなりません。

幸い職員の皆さんが進んで早め早めの対策を取ってくれています。村長就任時に比べ、別の役場になった感がします。皆さんと一丸となって、この難局を乗り越えましょう。

弥彦村長 小林豊彦